

会議記録

| | |
|------|-------------------------|
| 会議名称 | 第22回 会津坂下町新庁舎建設検討委員会 |
| 開催日時 | 令和8年1月8日(木) 15:00~16:50 |
| 開催場所 | 役場 3階大会議室 |
| 出席者 | 委員15名 町長、副町長、事務局 3名 |

<会議内容>

- ・委員長を議長とし、協議

【報告事項：前回委員会意見に対する回答】
(事務局)

～資料1の説明～

(委員長)

報告事項であるため、あとで意見があれば伺いたいと思う。

【協議事項：基本計画（案）について】

(事務局)

資料2は前回からの修正箇所の表になるため参考としてご覧いただき、資料3の方で修正内容も含めて説明する。修正内容の説明後、本日委員皆様に検討していただく「7. 新庁舎の建築計画」についても併せて説明する。

まず9ページの各種計画との関連性について、各種計画の名前を正式名称に修正した。なお、5番の計画だが、「～公共施設等総合管理計画個別計画」となっているが、「～公共施設等総合管理計画個別施設計画」が正しいため訂正をお願いする。

続いて33ページでは、ZEBに関する注釈を追加した。簡単に説明すると、注1のZEBは、省エネと創エネを合わせて消費するエネルギーをゼロにするという考え方である。注2のZEB Ready (ゼブレディー) は、省エネで50%程度削減するという考え方である。なお、他には、25%削減するNearly ZEB (ニアリーゼブ) や、1万m²以上の建物が対象のZAB Oriented (ゼブオリエンティッド) がある。この4つが主にZEBの考え方として設定されている。

続いて34ページは、(2) 負荷の軽減の③に「太陽光発電・雨水貯留を利用した建物の冷却～」以降の文章を追加した。

あとは、基本方針⑤の（3）景観・周辺環境への調和に③としてSDGs 11の項目とその注釈を追加した。

また、（4）まちづくり・地域づくりの③にSDGs 8の項目とその注釈を追加した。

続いて38ページは配置計画の東西の比較表を差し替えている。

最後に53ページのスケジュールについて、以前の委員会でも説明させていたいたとおり、基本計画の策定期間を延ばし、基本設計の始まりを少し後ろにするという変更をした。

修正箇所の説明は以上となる。

続いて、本日皆様にご意見をいただきたい「7. 新庁舎の建築計画」について説明する。

37、38ページでは、配置計画の東側配置案と西側配置案の形と配置案の比較表を載せている。39ページは、西側配置案ということで選んだ配置案を掲載している。

40ページでは（3）構造計画の①構造の種別ということで、それぞれのメリットデメリットを示している。これについては、コスト面や環境面など総合的に検討し決定するとしている。その下の②耐震性能については、41ページの表で太線囲みになっている、一番しっかりした建物を目指すという想定にしている。

42ページの（4）平面計画については、1階2階それぞれのスペースの割り振りを概略で示したものとなっている。43ページではその平面図の説明を記載している。

続いて（5）階層計画はまだ分かりにくい形ではあるが、1階と2階の階層を表した図になっている。階段が、右側はこの位置で、左側はこの位置で1階と2階を繋ぐかたちになっているのだなというふうに見ていただければと思う。1階には主に、町民に特に身近な窓口を持った部署や、町民が使えるようなスペースを置き、2階には総務や企画などの部署を置くという考え方である。

44ページ（8）木質化、木造化の検討では、実際の木質化、木造化の詳細については設計段階での計画内容に応じて決定していくというような記載としている。

以上、委員の皆様から、ご意見等いただければと思う。

<37p (2) 配置計画>

(委員長)

前回の委員会で、もう東にはならないのだから計画に入れる必要はないだろうという意見が出たと思うが、計画の中には、このような比較があったという経過は入るのか。

(事務局)

こういう比較をしてこういうふうに決まったという経過も、基本計画の中には掲載していく考えである。

(委員)

比較案はなくていいのではないかと個人的に思うが、こういう話があってこういうふうに決めたということが分かるドキュメントがあればいいのだと思う。どんどんページ数が増えていって收拾がつかなくなるのではないかと思う。

(委員)

改めて確認したいが、庁舎は西側の配置案でこの会議も進んでいくということでいいか。

(委員長)

庁舎の配置案は入れないという形で前回話し合いがなされていた。なぜかというと、この計画案に新庁舎と入るとこの位置に建つのだなと思ってしまう。また、隣地に4階建てが建つたら、新庁舎は真っ暗になってしまふ。それを踏まえると、この位置に建つというイメージを町民には与えない方がいいのではないかという話をした。

(委員)

委員長と同じ意見。この配置で進むならこのまま進んでいくだろうし、確定していないならまた検討しなくてはいけないと思い、その確認だった。

(委員)

東か西かで、西側にすることは決まったが、詳細までは決まっていないと思っている。前回も駐車場の案など色々流動的だったと思う。

(事務局)

おっしゃるとおりで、東側か西側かについては西側に決定した。実際の配置は決定していない。今後の設計の中で決まっていくことになるため、これは一例の案だというような形で見ていただければと思う。

(委員長)

計画にも載せない方がいいと思う。一般の人が見たらここに建てるのだなと思ってしまう。

(委員)

庁舎がL字型で進んでいるが、3階建てにすればL字型にしなくてよくなり、建築面積も700m²程度縮まる。そのため建物自体の形も含めて、決まったように入れるというのはおかしいと思う。

(委員)

敷地を西側にするか東側にするかの前の段階で、庁舎の配置案に基づいて西東を決めたわけではなくて、厚生連との協議の中で決めたと聞いた気がする。どちら側を取得するかの物語をここで書きたいのだと思うが、敷地ありきでそこから出発してもいいのではないかなどと思う。

(事務局)

基本計画については、今までの経過も含めて表すのが通例になっているため、ある程度比較検討した結果も残すような形で考えていたが、今の話でもあったようにこれで決まったと思われるようなこともあるため、表し方の工夫をしたいと思う。

(委員)

私は全面否定しているわけではなくて、これならこれで、こういった形で進みますという何かをいただければ、この会議もスムーズに進んでいくと思うためお願いする。

(事務局)

案として今の建築計画を表しているため、あくまでも案として、様々なご意見をいただきたいというスタンスである。

(委員)

庁舎をL字型にした理由を伺いたい。

(委員長)

(4) 平面計画でその話があるため、そこでお願いする。

<40p (3) 構造計画>

(委員長)

前回の会議であったように、鉄筋にするか木造にするかにしても、私たちは素人で、意見を出すのは難しい。事務局に任せることに同意する。

(委員)

我々の意見としては、予算をなるべく使わない、建設予算の縮減ができる限り求めたいということがあると思う。建設そのものにかかる予算と将来的にかかる運用コストの両方を兼ね合わせても、構造の検討やそれに伴う予算額を町にはしっかりと計算、検討をお願いしたい。

(委員長)

委員会としてはやはり分からぬ人が多い。ある程度こういう形でお願いしたいといふのであれば、事務局の方で対応してもらうしかないと私は思っている。

(委員)

言いたいのは、単純にお任せするのではなくて、効率的な予算の積み上げを町にはお願いしたい。委員会の意見として、圧縮しなさいということを出すべきだと思う。合理的、効率的に計算し、見通したうえで圧縮してくださいという私の意見である。

(町長)

木造と言い出したのは、木造にすると補助があるという情報が入ってきたから。では、木造にしたらどのくらい鉄筋コンクリートや鉄骨と差額が出るかというと、木造はやはり高くつく。1.3倍～1.5倍くらいという話がある。耐久性は鉄筋コンクリートに負けないとと言われている。耐火性も、燃えにくい材質になっているため変わらない。階層を高くすれば高くするほどコストも高くなるため、できれば2階建て程度で抑えたいという我々の考えがあり、最初のたたき台としては2階建てで考えた。鉄筋コンクリートも鉄骨も、階層を高くすればするほど高くなる。いくら建築面積を小さくしても、階層を上げれば高くなる。木造だとどのくらい補助が出るのか。高くなる分を回収できるほど補助が出るのか。その辺は今私も調査中である。各省に色々な木造の補助メニューがあり、それを1つの窓口として取りまとめているのが林野庁。それも見てみると、ハードルが高く、資料だけでは我々も判断しにくいため、今後東京に行って、分析しながら、どちらが得なのか調査していきたい。そのため、木造にする、鉄筋コンクリートにするということは今の段階では言えない。そして、L字型の件は、建物は大体南向きに建てるが、2階建てで面積が取れるかというと取れないため、L字で南側に伸ばした。L字型にこだわっているわけではないため、庁舎の配置も含めて皆さんから意見を出してもらえばと思う。

(委員長)

委員会に調査の報告が上がるまで、委員会としては待ちたいと思うがよろしいか。

～異議なし～

(委員)

想定している人口があると思う。駐車場のスペースなどはその想定で決めていると思うが、これからだんだん人口構成は変わってくる。想定している人口は大体何年後の想定なのか。

(委員)

今の意見について、前にメールで質問したことがある。延床面積の4, 500 m²という数字は何を基準に算出しているかというと、庁舎を利用する人や町の人口、職員の数などに基づいて出している。川西町役場は基本計画を検討している段階の人口で面積を出して、それに基づいて今実際に利用しているが、それでも特に過不足は無いというふうに視察で聞いてきたらしい。私は当初、20年先ぐらいの人口を想定して建築面積を出すと、延床面積3, 500 m²ぐらいになり、建築コストも抑えられるというふうに思っていた。将来的に身の丈に合わない建物は管理できなくなってしまうため、それを心配していたが、現時点の人口で算出しても問題ないというふうに回答をもらった。

(委員)

人口もそうだが、あとは環境。わざわざ役場に行かなくても済む世の中になってきている。それをどの程度想定するかだと思う。

(委員)

そこまで考えると正直、今の面積は大きいと思う。

(事務局)

我々も延床面積や大きさを決定する際は、その時の職員の数や駐車場の利用状況など色々なことを検討しながら決めている。これから進むべき方向性としては、将来の人口減やDX化も含めて建築面積の減少も視野に入れて策定しなくてはいけないと考えている。しかし、ある程度の仕事ができないと職員も困ってしまうため、その調整がこれから考えていくところであり、その辺については事務局にある程度任せていきたい、面積についても任せていただきたいというふうに考えている。

<42p (4) 平面計画>

(委員)

L字型にこだわらなくてもいいという意見である。あくまでも、敷地をどう有効利用するかという、敷地の中にどう収めて駐車場との整合性を取るかという、そういう中でのL字型という案なのだろうと思う。

(委員)

先ほど委員長が言っていた、隣地に3階建て、4階建てが建ったらどうするのかという話について、そういった場合も想定して考えるべきなのか、まったく想定しないで今の配置のイメージで進めていくのか教えてほしい。

(委員)

効率化を図るということで、坂下管内の支店を1箇所にまとめるということで進んでいる。なお、今月下旬ごろ説明会を行うということで進んでいる。まだ厚生病院跡地にすると決まったわけではなく、候補地が4箇所あり確認しているところである。何回建てにするかの話はまだ決まっていない。パストラルホールが老朽化してきているため支店の上に建ててはどうかという話も出ている。ある程度人が集まれるものを見てたらどうだという話が出ており、実際の店舗は2階建てのため、もしかしたら3階建て、4階建てになる可能性もあるかもしれない。また、先の話だが、6,000m²だと少し狭いかもしれないため、公用車や職員用の駐車場、イベントなどは役場の駐車場とお互いに利用できれば助かると思う。これから検討委員会を立ち上げる予定のため、決まったことがあつたらこちらの検討委員会でも情報共有したいと思う。

(委員長)

平面計画についても、進捗あれば後で委員会に報告をしていただきたい。

(委員)

これはもう一回その辺について協議するのか。

(委員長)

何回も行う。まだ何も決まっていない。役場をここに建てるというのが決まっただけで、町長が言ったように、木造にするか鉄筋コンクリートにするかも調査中で、6,000m²に何階建てが建つかも決まってないため、その都度事務局から報告をいただき、問い合わせをしてもらって、皆さんから意見をいただくという形で進めていきたいと思っている。

(委員)

現時点での意見を申し上げる。L字型が流動的だと理解しているが、図を見ると、住民が出入りするロビーや廊下の位置が南側の一番採光が良い場所で、職員の執務環境を暗がりになっており光熱費を食うということで、執務スペースの南側配置もあり得る。その辺も検討していただきたい。ロビーを北側に置いて執務室を南側に置いたり、管理スペースが南側の窓をなるべくふさがないような構造にしてもいいなと思った。

(町長)

今まで建設場所を検討する中で、小学校を役場にするという話も出た。それで、小学校を役場にした場合の配置案も出た。学校というのは南から太陽光が差して、黒板は西側にある。子どもたちのほとんどは右利きのため、字が書きやすいようにそういう配置になっている。そして廊下は北側にある。それは、日差しを勉学のために取

り入れるという理由でそうなっている。役場は町民の方々、来庁者が最優先で、北側の暗い所を歩かせるわけにはいかない。執務室はエネルギーを使うかもしれないが、南側においても電灯はつける。それが良いか悪いかは別としてこれから皆さんに検討してもらえばと思う。これは1つの考え方としてのたたき台である。

(委員)

配置案について、一委員として意見を申し上げる。建築に携わる者として、まず建物はできれば長方形、箱型の方が良い、シンプルなほうを作る方も手間がかからず、コストも抑えられる。延床面積等調整して上手く横長の長方形にできないかなとずっと考えていた。それも基本設計の段階で、検討の材料として取り入れてほしい。

<4 3 p (5) 階層計画、(6) 設備計画>

(委員長)

階層計画については先ほどから話が出ているが、2階建てにするのか3階建てにするのか等はお任せするしかないと思う。

(委員)

階層計画の中で、高齢者や子供連れ用に、片方をスロープにすることはできないか。エレベーターを設置するのは無理だろうから、階段を上り下りしなくてもいいような形の1階、2階の往来を作っていただきたい。

(事務局)

図のEVというのがエレベーターで、エレベーターは設置する。スロープを採用している庁舎もあったが、スロープはかなり勾配を緩くしないといけないため、面積がとても必要になる。その辺はコストパフォーマンスを考えなくてはいけないと思う。

(委員)

来なくても用事が済むようにする仕組みを作っていくのが重要だと思う。

<4 4 p (7) 外構及び景観等>

意見なし

<4 4 p (8) 木質化、木造化の検討>

(委員長)

ある程度事務局で固まれば、こういう形で進めていきたいという意見をいただいて、委員会でそれを検討していくという形でいきたいが良いか。

～異議なし～

(委員)

材料の検討として一番大きいのは予算だと思う。以前、鉄筋コンクリートより木造の方が、設備補修等の維持管理コストが抑えられると聞いたため、そういったことも含めて検討して決めていってほしい。

(委員)

②景観計画の一番下に、「シンボル性と安心を感じさせるイメージ」とあるが、具体的に役場にどういうふうに当てはめるかは、非常に難しいと思った。ただ、町民の立場からすれば、うちの役場は外観も良いし、中に入っても使い易くて良いよというふうに自慢したいという気持ちはあると思う。その辺をどのように新庁舎に当てはめていくかは大事だと思うが、ではどんなふうにと聞かれると答えられない。どんなふうに考えているのか。

(事務局)

実際にどんなシンボルや安心感をというと、例えば極端な話、近くに大儀があるような庁舎など、そのような指示を町でする想定ではない。ただ、項目として、町民に愛されるシンボル性があり、安心感のある庁舎にしたいという考え方はあるため、この考え方を基に、設計の中で良いアイデアが挙がってくればいいなという趣旨での内容である。

(委員長)

こういう形で進めたいという具体案が出るともっと意見が出ると思う。案を固めた中でないと、委員会としても要望だけで終わってしまうため、これから進めていってほしい。

(委員)

今後色々な話が出て、この基本計画がどんどん充実化していくことであれば、変遷を管理できるような文書・資料にしてほしい。あと、毎回色々な議題が出て、既に決定したことや、継続検討になることもあると思うため、それを分かるようにした方が良いと思う。今回は、前回の委員会の結果をまとめていただいているが、このやり方だと最初から最後まで全部見ないと分からなくなってしまうため、例えば、新庁舎の構造に関するることはこういう項目があってこれは誰をオーナーにしていつまでに決めるということをリスト化すれば、決まった内容を計画に盛り込んでいく作業で分かりやすくなると思うため、ぜひ検討していただきたい。

(事務局)

検討する。

(委員)

次回からということではない。

【協議事項：複合施設化の検討】

(事務局)

前回、前々回の委員会でも複合施設化、特にホールについて皆様からご意見が色々出たところである。この委員会としても、どういう方向性が望ましいというような意見を、この協議の中である程度まとめていただければということで挙げさせていただいた。実際やる場合に予算が伴う項目であるため、必ずしもできることではないが、この中で検討していただければと思う。資料4は参考資料として付けた。委員の皆様からも話が出ていた美里町役場の平面図になる。美里町役場にはじげんホールというホールがあり、図だと右側の1階と2階を両方使ったようなホールになっている。規模としては1階席が322席、2階席が27席で、合計349席ということで、対外的には約350人入れるとなっている。1階が311m²、2階が40m²、ステージが200m²くらいで、延床でいうと1, 100m²くらい増えるイメージである。参考として、検討していただければと思う。

(委員長)

视察に行った白鷹町は、町民が土日でも平日でも集える、町民に愛される庁舎を建てたということで、坂下町も、土日も使えるような複合施設が良いのではないかと今まで話してきた。先ほど事務局からあったように、ここで複合施設に決まったからといって複合施設にしなくてはいけないということではない。今回の協議の中で、どんな施設が良いのかということを皆さんから意見を出していただいて、それをある程度町の方で考えてくれればということで進めていければと思う。

(委員)

先ほどの平面計画と階層計画にある会議室や議場といったスペースを複合的な施設としてかみ合わせると、そういう部分についての庁舎の面積は少なくなる。その分こういう複合施設の中のホールの一部として取り入れてそちらを会議棟として庁舎と繋いでそういう建物を建てるということであれば、面積も少なくなる。それと、敷地面積はもともと13, 000m²だったものが14, 700m²になり、単純計算で1, 700m²増えている。そういうことであれば、建物自体が1, 100m²増えても十分飲み込める面積であり、こういった複合施設が良いのか別棟が良いのかは分からないが、こういった極端な考え方をするのであれば、非常に良いのではないかと思う。あと、賑わいも合わせて行えるのではないかと思う。もう1つ理由があり、民生児童委員で一昨年から昨年末にかけて、美里町、浪江町、檜葉町の3町で交流会を開催しており、中央公民館を押さえようと連絡すると、もう既に予約が入っており、取り合いになってしまことがある。そういうことも含めて、別途でそういうものを建

てるということであれば利用価値も増え、町内だけではなく町外からも誘導できるということで、町の活性化につながるという理由づけもできる。単なる1,700m²のスペースが増えたから土日イベントを行うということでは、あまりにも乱暴な説明になるのではないかと思う。

(委員)

前回ソフト面も組織を作るべきではないかと話したが、今の話はまさにそのことではないかと思う。委員長からも、どうやって人を集めのかという話が前々から出ており、今は建物でも良いかもしれないが、どういうメンバーでどうやって人を集めの仕組みを作るのかというの、早い段階からやっておかないと、今のどんなイベントをやるのかということもまとめられないだろうし、急いだほうがいいのではないかと思った。

もう1つ。今、会議のスペースなどをひっくるめると多目的ホールに匹敵するくらいの面積になるのではないかと言われたが、日本全国でそういうものを造ったところはないのか。探してみる価値はあると思ったため、お願ひしたい。

(委員)

私は前回ホールを造ることに反対させてもらった。もともと庁舎を造る目的というのが、散らばっている庁舎機能の集約による業務の効率化や、基本理念に書いてあることだったと思う。それと離れた内容であるということと、建ててから管理できる予算があるのかということ。それと、議場が使われない場合に議場のレイアウトを組み替えて会議室として利用できるようなスペースというふうに書いてあるため、それで賄えると思っている。あと、美里町にあるような多目的ホールはこの先人口減少していく中で、一市町村だけで考えていくものではなく、会津地域全体で考えていくことだと思う。公民館の予約が取れないということも、役場の会議で使うこともなくなってくれれば、今後は利用しやすくなるのではないかと思うが、役場の会議で利用することはあるか。

(事務局)

役場だけでの会議は行っていない。

(委員)

もう1つ補足で、複合施設化を考えるのならもう少し早い段階で考えるべきだったと思う。今話すと、また全部検討し直しになってしまう気がする。今は検討しないで将来こういうのが必要になったら増築という形で敷地の中に新しく造るというのも1つの選択肢としてあると思う。

(委員)

個人的には人口減少に抗いたいという気持ちがあるため、何とか人が集まるような良い仕組みを作つてほしいという思いである。

(委員)

同じく文化ホールについては必要ないと思っている。一番初めに委員からあったコストの削減、起債の削減ということを重視すれば、文化ホールはいらないと思う。

(委員)

現庁舎を解体して役場でどうするのか考えているのか。今の段階では新庁舎を造るということのため、将来的にホールがあれば良いとは思う。

関係ない話になるが、去年、春日八郎の全国のど自慢大会が中央公民館の大研修室で行われたが、音響が最悪だった。全国から坂下に参加者が来てくれているわけなので、しっかりしたホールがあればなと思った。

そういうことで、現庁舎をどのように町として利用していくのかも絡めて、検討していただければと思う。

(委員長)

最終的には委員会として、役場庁舎をどういう形で建設するか事務局の方から意見が出てくれれば、また委員から意見をいただいて進めていくが、今回は複合施設化の検討について、委員会の方向性として、複合化について検討した方いいだらうと思う方の挙手をいただいて多数決を取ろうと思うがよろしいか。

～委員会意見とすることには疑問、反対の声多数～

(委員)

現庁舎の跡地をどのように利用するのかという話とセットだと思う。跡地にホールを造ることもありだと思うが、一方で駐車場がないから難しいという議論もあると思うため、セットで考えるべきだと思う。

(委員長)

現庁舎跡地は、委員会で検討する議題ではないと思う。

(委員)

ちなみに跡地の利活用についてはどのような計画で決めていく考えなのか。

(副町長)

ゼロベースでこれから考えに入る。まず懇談会を行い、その結果を受けながら検討

委員会を立ち上げ、市街地活性化にどのような施設が結びついてくるのかも含めて、実質的には来年度から動くかたちになる。ただ、1年2年で決まるものではない。最終的に現庁舎を壊すのは早くても12年度になり、そこから基本設計が始まるかたちになる。その前段で基本構想を決めようという流れになる。

(委員)

先ほど、会議スペースなどを合わせれば多目的ホールに匹敵する面積が必要だという話があったが、本当に間仕切りを全て取り外すことで、そのような使い方ができるのかという問題もあると思う。現庁舎を取り壊したときにそのような構造のものを建てるといった方法もあると思うが、いずれにしても必要なのであれば、両方に利用できるような構造にできるのかは検討したほうがいいのではと思う。

(委員長)

多種多様な意見が出ている。採決を取るのは難しいだろうか。

(委員)

色々な意見が出たということにしたほうが良いと思う。町の活性化や地域の賑わいに関係してくる話はここだけでは決められないし、町全体の計画に関係してくることだと思う。もっと幅広い枠組みの中で話していくべきことだと思う。

(委員)

町として、南幹線から国道までの流れに経済的な効果を期待している部分が多くあると思う。その中に14,000m²の敷地がある場所にあるということは非常に大きな魅力だと思う。そのため、町としてあの流れを変えないようにさらなる商業的な賑わいを地域につくるという考え方もあるのではないかと思う。そういう方向性の中で、経済的な効果は庁舎だけの費用対効果で考えるのではなくて、地域を含めた町全体の流れとして捉えていく部分については、あのスペースは非常に大事だと思うし、そこに公的なものを設けてそういった部分での賑わいをつくるという考えがあるのか聞きたい。

(町長)

メガステージがある南幹線の沿線上に、商店が出来るということはないのかなと思う。現状ドラッグストアなどで満たされているのかなと思う。県有地も町で取得した。これも5年間保有した後、宅地として売却しようと思っている。それ待っている業者もいると耳に入っている。売却して、どんどん町の持っている土地をスマートにしていくという考え方である。今取り組まなければならないのは、中心市街地をどうやって再生していくのか。何をやってもダメだ、今更何をしているんだと言われるかもしれないが、中心市街地という考え方で、ここをどうするのか最初の話から町民と話

をしたい。そのため私の方から、これをつくるあれをつくると言うのではなく、中心市街地の方々からの発案をいただいて検討していきたい。とにかく中心市街地をこのまま衰退させるわけにはいかないという気持ちで取り組んでいきたい。

(委員)

子どもの遊ぶ場所がない。旧金上小学校があるが、見た目でそこにあることが分からぬ人が多い。あそこで利用してもらいたいという考えがあるとは思うが、まだまだそういった施設が足りないという人が多いと思う。そういった施設がどこにあれば良いかというと、南小学校がいずれ残るのであれば、その近くの現庁舎跡地に造ったほうがいいのかなと個人的に考える。町内の賑わいとは別に、そういった子どもたちが集まる賑わいの場を考えると、新庁舎はそれ以外の賑わいの場として有効活用したほうが良いと思う。

(委員長)

そうすると、複合施設化については委員会の中では採決を取らないで、多種多様な意見が出たということで、事務局に持ち帰っていただきて考えるという形で、後で報告をいただきて委員会で検討したいと思うがよろしいか。

～異議なし～

(委員)

複合施設というと、美里町だと図書室など色々な施設が含まれる。小ホールに限定するということなら、どの程度の規模を想定するのかも問題になってくる。坂下町がそのホールを使ってどのようなイベントを行っていくのかも想定する必要あると思う。小ホール程度ならば、議場を多目的に使うことで済むと思う。その程度の規模を我々は想定すればいいのか。それによって話が違ってくる。

(委員)

今会津にどういうホールがあり、どういう予約方法なのかが分かりづらいということも、上手く活用されていない理由になるかもしれない。

予約がかち合わないようにしたり、一目でこの施設が空いているということが分かるような仕組みづくりは、今からでも取り掛かった方が良いと思う。

(委員長)

あとは事務局で検討し、決まった段階で報告をもらい検討したいと思う。

【協議事項：その他】

(委員)

前回、建築士会の要望書について、最初見た時は良い案だと思ったが建設課長の話を聞くうちに実現性がないと思ったと話した。その後帰宅して見返すと、役場と隣接団体との道路などはいずれ必要になってくるのではないかと思った。委員会では検討しないという話でまとまつたと思うが、今後基本設計等進めていく中で、資料の1つとして残しておくことは必要だと感じた。

(委員長)

委員会としては検討しないと決定しているため、委員会以外の形で事務局に検討してもらいたい。

(委員)

もう1つ。今後の予定について、議事録でしか分からないが、6月の議会定例会に上程するために、4月上旬に諮問を行う。そのために2月の時点で素案を作り、2月から4月の間に町民説明会を行うとある。先ほど、この先も配置計画について検討していくことを確認したが、この先のスケジュールを明確にしてほしい。

(事務局)

1点目の建築士会の要望書については、前回の委員会で、委員会の中では検討しないとあった。確かに、敷地内の通路の計画についてはこれから考えなくてはいけない部分であるため、要望の内容の良し悪しは別として、検討することにはなる。

2点目のスケジュールについては、委員のおっしゃるとおり、10月の委員会の際に、6月の議会定例会に基本計画（案）を上程したいということでスケジュールを延ばさせていただいた。その前段として、この委員会の中で基本計画（案）をいったんまとめて、それについて町民説明会やHPで意見をいただき、出た意見をもう一度検討委員会の中で検討する機会があると思う。そして修正を加えた基本計画（案）を諮問答申するということになる。10月に話した通りのスケジュールでいきたいと思う。

(委員長)

委員会開催ごとに決めなくてはいけないことを示して、それを委員会の中で決めていくというスケジュールでやっていかないと難しいため、そのようにやっていってほしい。

(委員)

次の検討委員会は何について決めるのか。

(事務局)

日程的には1月28日を予定している。内容については、10月にスケジュールを示した際には、次回の委員会では全体について意見をいただいてまとめに入るスケジュールだったが、回数が足りない部分もあるため、委員長がおっしゃったようにテーマを設けて行いつつ、全体の意見をいただきたいと思っている。テーマについては委員長と相談しながら決めさせていただく。

【その他】

(事務局)

先ほど話したが、次回の委員会は、1月28日（水）15時から開催を予定している。場所についてだが、次回は大会議室ではなく、北庁舎2階にある会議室、庁舎整備課の隣にある会議室で行う。

他に委員から全体を通して何かあるか。

(委員)

協議事項の話に戻ってしまうが、平面計画にある書庫について。現在役場の書庫には明治以前の歴史文書も保管されているが、今の書庫だと火災があった時に全部燃えてしまう。新庁舎を建設するにあたり、後世に文書が残るように耐震耐火を完璧にした書庫を造っていただきたい。

(委員)

電子データにはできないのか。

(委員)

電子データもあるが、現物も残さなければならない。

(事務局)

貴重な意見として参考にさせていただく。